

1. 素材

JIS A 9511 発泡プラスチック保温材
A 種フェノールフォーム保温板 3 種 1 号 F S / 認証番号 TC 03 08 243

2. 基本物性

基本物性一覧

項目	単位	物性値	試験法・条件
密度	kg / m ³	24	JIS A 9511
圧縮強さ	N / cm ²	11	JIS A 9511
熱伝導率 (平均温度 23)	W / (m・K)	0.020	JIS A 1412
透湿係数 (25mm あたり)	ng / (m ² ・s・Pa)	60	JIS A 9511
吸水量	g / 100 cm ²	1.7	JIS A 9511

上表における物性値は、測定データの代表値です。

(熱伝導率は第三者機関での試験(JIS A 1412 による)より求めた熱物性値)

発泡剤には、オゾン破壊係数がゼロで、地球温暖化係数も極めて小さい「炭化水素系ガス」を用いています。フロン類は一切使用していません。

ジュピーは、ホルムアルデヒド放散区分 = F 等級に該当します。なお製品ラベルには、「A 種フェノールフォーム保温板 3 種 1 号 F S」の表示がされていますが、これは JIS で定める表示内容に基づいたものであり、種類とホルムアルデヒド放散による区分を示しています。

ジュピーの熱伝導率は上記の値ですので、断熱材区分は「F (熱伝導率 0.022 [W/(m・K)] 以下)」に該当します。

【取扱上の注意】

- ・ジュピーは、床充填専用の断熱材です。床以外の屋根、壁部位等には使用しないで下さい。
- ・常時高温(100 以上)で使用した場合、熱伝導率等の物性の低下をきたします。
- ・保管には、直射日光に当たる場所、水分に接する場所は避けて下さい。
- ・ジュピーの基材は、炎をあてると炭化する性質があります。輸送、保管、施工にあたっては、火気に十分ご注意ください。特に、ジュピーの切断等で生じた粉塵には火が移り易くなりますので、ご注意ください。(基材の酸素指数:28 以上)
- ・切断時には粉塵が発生しますので、切断器具には粉塵吸引装置を設け、作業者は正規の作業服を着用の上、防塵マスク、防護眼鏡などの使用をお願いします。また、狭い場所で多量の切断作業を行う場合は、十分な外気の導入を行うと共に、粉塵量の管理を十分に行って下さい。
- ・廃棄する際は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、許可を受けた産廃処理業者に処理委託して下さい。処理にあたり、ジュピーを圧縮・粉砕すると、内部の炭化水素ガスが放散されます。危険防止の為、閉空間での作業は避け、十分な通風を確保した上で火気に注意して行って下さい。
- ・その他取扱注意事項については、ジュピーのカタログをご覧ください。